

第5回京都世界水大賞 概要書

特定非営利活動法人日本水フォーラム

1. 開催趣旨

京都世界水大賞は、途上国で水問題解決に尽力する団体を称える国際的な賞として、京都市と世界水会議により、2003年に設立されました¹。この度、2018年3月に開催される第8回世界水フォーラムに併せ、第5回京都世界水大賞を開催いたします。

2015年、国連で持続可能な開発目標（SDGs）が採択されて以降、国際また各国の政策には新たな思考と行動が求められています。水分野においても、国連と世界銀行による「水に関するハイレベルパネル」の創設や、「持続的開発のための水の国際行動10年2018-2028」の国連総会決議などさまざまな変化が見られるようになってきました。

しかし、SDGsの誓い「地球上の誰一人として取り残さない（no one left behind）」のためには、政策や議論のみならず、今起きている課題の解決に取り組む、草の根での具体的行動が不可欠です。また、そうした草の根の行動に対する政策側の理解や関心も重要です。

第5回京都世界水大賞は、多数の水関係者が注目する世界水フォーラムの機会を活用し、途上国で水問題解決に尽力する団体を称え、草の根での行動に寄与するとともに、政策決定や国際議論形成に関わる人物・機関から、草の根での活動に取り組む人物・機関にいたるまで、多くの人びとに、問題解決のための行動の重要性を伝えることを目的としています。

2. 大賞概要

- 主催者：世界水会議、特定非営利活動法人日本水フォーラム
- 受賞対象：水問題解決に尽力する途上国はえぬきの非営利団体
- 審査・選出：
 - ・ プロジェクトの公募
 - ・ 第5回京都世界水大賞選考委員による審査により、大賞1団体を選出
- 賞金：200万円
 - ・ 協賛金を充当
 - ・ 大賞受賞団体のプロジェクト実施資金として利用
- 発表：
 - ・ 第8回世界水フォーラム（於：ブラジル）の開会式または閉会式にて授賞式を開催
 - ・ 主催者および第8回世界水フォーラムのウェブサイトにて発表
 - ・ 受賞団体からの成果報告をもとに、本大賞主催者による最終報告書を作成・公表

¹ 第4回京都世界水大賞より、京都市から日本水フォーラムが継承。

3. ご協賛メニュー

ご協賛金額	①ウェブサイトへの ロゴ・社名掲載	②授賞式での プレゼンター	③授賞式での ロゴ掲出	④最終報告書への 社名掲載
10万円以上	○	○	○	○
5万円以上	△（社名のみ）	—	—	○

①ウェブサイトへのロゴ・社名掲載

- ・世界水会議（日本語なし） www.worldwatercouncil.org
- ・日本水フォーラム（日英） www.waterforum.jp
- ・第8回世界水フォーラム（日本語なし） www.worldwaterforum8.org

②授賞式でのプレゼンター



第4回京都世界水大賞授賞式の様子
プレゼンター（右）と受賞団体代表者（中央）



第7回世界水フォーラム閉会式（開会前の場内）

③授賞式でのロゴ掲出



前回授賞式の賞金ボード（赤枠内にロゴ掲出）

④最終報告書（英文）への社名掲載

全10～20ページ程度から成る最終報告書の巻頭等に掲載（日本語訳も作成予定）

第5回京都世界水大賞授賞式の概要（予定・見込み）

- ・日時：2018年3月18日（第8回世界水フォーラム開会式）または23日（同閉会式）
 - ・場所：ブラジル ブラジリア、第8回世界水フォーラム会場内
 - ・主な来場者：各国首脳・閣僚・議員、水分野の専門家、企業、市民、マスメディア
- <参考>前回世界水フォーラム（2015年4月開催：韓国）来場者実績：

総参加者数168カ国約4万人、首脳級10名、政府代表者121名、閣僚級80名、議員71名
以上